

経営比較分析表（令和3年度決算）

兵庫県北播磨総合医療センター企業団 北播磨総合医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	34	対象	ド透I訓方	救臨地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	38,109	非該当	非該当	7：1

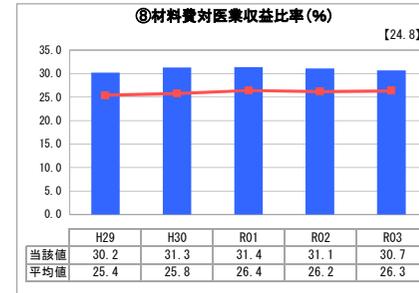
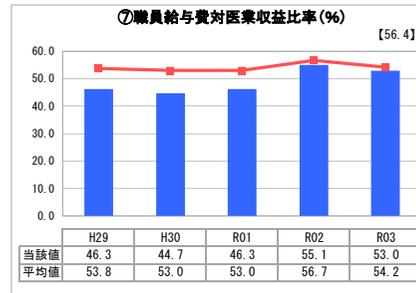
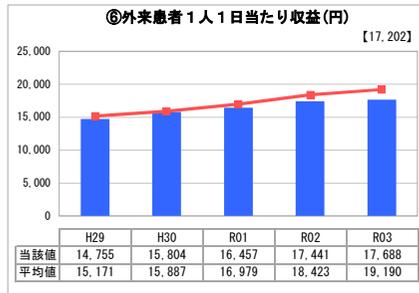
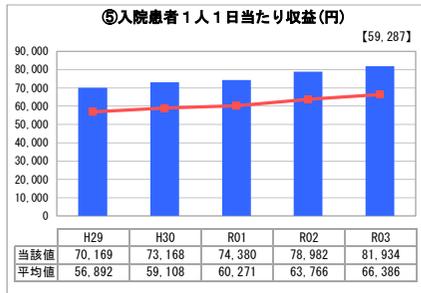
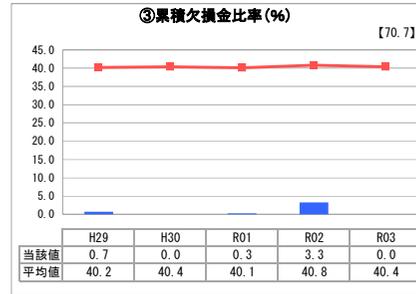
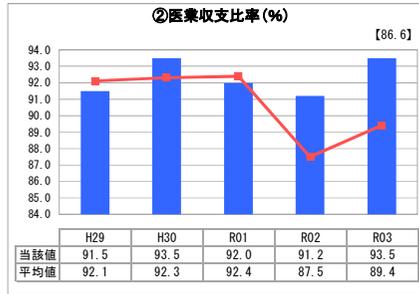
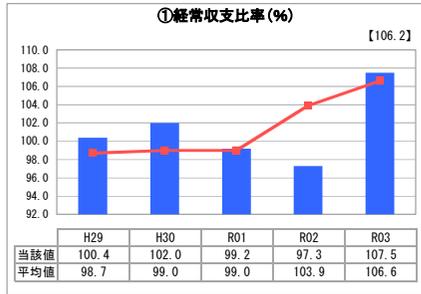
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

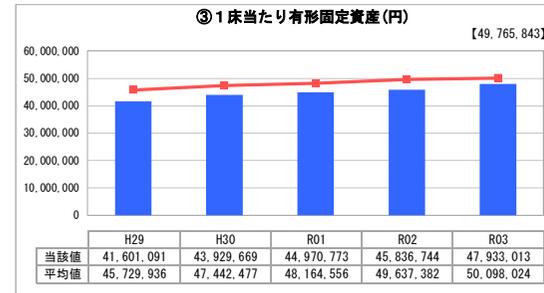
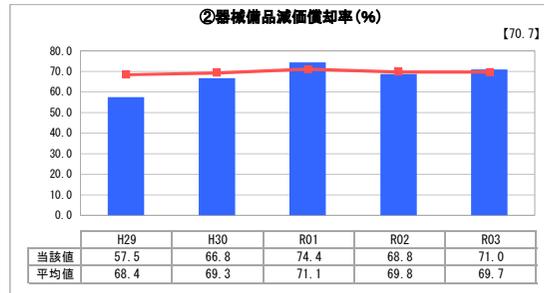
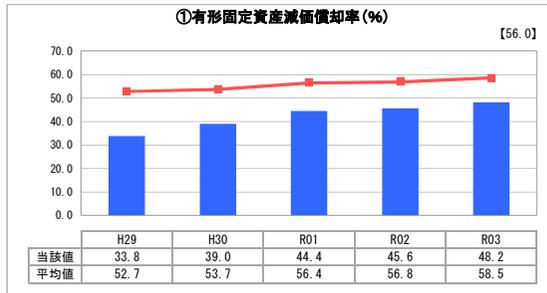
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
450	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	450
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
427	-	427

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
-	類似病院平均値（平均値）
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成25年度	-	-

I 地域において担っている役割

地域の基幹病院として急性期医療（ER救急、小児救急、急性期心疾患、周産期）を担うとともに、専門的で高度な医療の提供を行っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益面では、コロナ患者の受入対応等により入院患者数はコロナ前比に減少したが、前年度下期から取り組んでいる経営改善の効果や、重点医療機関の指定による休床補償補助金約14億4千万円等により、経常収益は約13億2千万円の黒字となった。このため、経常収支比率は大きく好転する結果となったが、当該補助金を除いた場合の経常収支比率は99.5%と100%を下回っている。看護師の減等により医業収益に対する職員給与の割合が昨年度を下回った。

2. 老朽化の状況について

平成25年10月の開院以来、有形固定資産減価償却率は年々増加している。開院時に取得した器械備品は、償却期間が順次満了しており、器械備品減価償却率は類似病院及び全国平均値と近いものとなっている。また、1床当たりの有形固定資産額は年々増加しているが、類似病院及び全国平均値よりも低い状況にある。

全体総括

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、コロナ休床補償を除く経常損益は3期連続の赤字となり、コロナ禍での経営環境は依然として厳しい経営状況となった。引き続き、感染拡大防止の徹底を図るとともに、地域の医療機関と連携しながら、より質の高い地域医療を確保するため、高度で安心・安全な医療の提供に取り組んでいく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。